

### 第3回連合理事会議事抄録

日時: 2005年6月11日(土) 15:00~18:00

場所: 統計数理研究所 特別会議室

出席者:

日本統計学会: 山本 拓、竹村 彰通  
応用統計学会: 清水 邦夫、広津 千尋  
日本計算機統計学会: 道家 暎幸  
日本分類学会: 矢島 敬二、林 篤裕  
日本行動計量学会: 馬場 康維、岡太 彬訓  
日本計量生物学会: 丹後 俊郎、岩崎 学

#### 議事

##### 1. 前回議事録の確認

前回の議事録についてコメントを求め何も修正点はなく、原案を了承した。

##### 2. Web 検討管理委員会からの報告

林委員長から Web 検討管理委員会の活動報告があり、「現在は、連合大会の部分を中心に活動している」との報告があった。また、本委員会に対して、いくつかの要望が出され、委員会で検討してもらうこととなった。

##### 3. 連合大会(広島大会)

広島での連合大会の進捗状況が報告された。また、連合理事会が提案した企画セッション「統計関連学会の今後を考える」のパネリストの確認と予稿の準備、日程が確認された。

##### 4. 2006年の連合大会について

日本計算機統計学会が開催の申し出を辞退したので、日本統計学会の提案した東北大学での開催について、準備状況を紹介してもらった。連合大会が東北大学での開催になった場合に、学会として参加するかどうかを確認した。

なお、2006年の連合大会の企画委員会は広島大会後に立ち上げることにした。

##### 5. 連合大会の今後

今までの連合大会の経験を基に、今後の連合大会について意見を交換した。

##### 6. 統計数理研究所の公開講座への協賛依頼

資料に基づいて説明があった。公開講座への企画と演者の協力依頼であり、既に「統計

教育」に関しては渡辺美智子氏に協力いただいているとのことであった。統計科学の発展に寄与する事でもあるので、積極的に推奨/支援する方向で回答することとし、次回に企画者の推薦することとした。

#### 7. 統計数理研究所の欧文誌への協力について

資料に基づいて説明があった。当面は、AISM への企画編集に参画してもらえないかとのことであったが、将来的なことも含めて検討することとなった。

#### 8. 科研費の獲得

科研費の獲得方法を考える必要があるとの認識が示された。

#### 9. 法人化

連合を法人化することについて意見交換を行った。法人化には「社団法人」、「財団法人」、「NPO」等があることが併せて紹介された。

#### 10. 事業委員会

第1回の事業委員会が7月16日に開催されることが紹介され、その中で連合が行うべきと考える事業を検討してもらうこととなった。その一つとしてジャーナルの発行について、統計数理研究所が発行している雑誌とのジョイントが考えられないかという案が紹介された。また、事務局についてもどのような形態が望ましいか検討してもらうこととなった。

#### 11. 日本統計学会会報の掲載情報について

日本統計学会の会報に掲載されている連合の規定は、古いバージョンのものであることが指摘され、確認後必要なら訂正を願うこととなった。

#### 12. 次回の開催予定

2005年10月1日 15:30-18:00 に統計数理研究所で行なうこととした。